

(別紙)

国際コンテナ戦略港湾検討委員会

1. 目的

釜山港等アジア諸国の港湾との国際的な競争がますます激化するなか、コンテナ港湾について、更なる「選択」と「集中」により国際競争力を強化していくため、スーパー中核港湾政策の総括を行い、その課題を踏まえた上で、選択する港湾についての、評価項目、選定案の作成等の検討を行う委員会を設置する。

2. 委員

<政府側>

長安 豊 国土交通大臣政務官

<委員>

赤木 聰之 (社)日本船主協会港湾物流専門委員会委員長
木村 琢磨 千葉大学大学院専門法務研究科教授
久保 昌三 (社)日本港運協会会長
黒田 勝彦 神戸大学名誉教授・神戸市立工業高等専門学校長
高木 勇三 公認会計士・監査法人五大会長
竹林 幹雄 神戸大学大学院工学研究科准教授
根本 勝則 (社)日本経済団体連合会産業政策本部長
長谷川 雅行 (株)日通総合研究所顧問
前田 耕一 外国船舶協会専務理事

3. スケジュール (案)

○平成22年 2月12日	国際コンテナ戦略港湾 公募
○平成22年 3月26日	計画書(目論見) 締切
○平成22年 4月 2日	港湾管理者等によるプレゼンテーション
○平成22年 5月頃	港湾管理者等による再プレゼンテーション
○平成22年 6月頃	国際コンテナ戦略港湾 選定